

製品安全データシート

会社名 クミアイ化学工業株式会社
住所 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 生産資材部 生産業務課
電話番号 03-3822-5180
FAX 番号 03-3827-0825
作成・改訂 2009年 9月15日

整理番号 KF031-3

製品名 ビームジン粉剤DL

物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：5-メチル-1,2,4-トリアゾロ[3,4-b]ベンゾチアゾール／一般名：トリシクラゾール
O,O-ジイソプロピル-S-ベンジルチオフェースフェート／一般名：IBP

成分及び含有量：トリシクラゾール	0.50 %
IBP	1.5 %
鉱物質微粉 等	98.0 %

化学式：C₉H₇N₃S／トリシクラゾール

C₁₃H₂₁O₃PS／IBP

官報公示整理番号：安衛法 4-(9)-133／IBP

CAS No.：41814-78-2／トリシクラゾール
26087-47-8／IBP

国連分類：国連分類で評価して、危険有害物に該当しない

国連番号：

危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない

有害性：眼、皮膚を刺激する

IBP（有機りん剤）の中毒症状

コリンエステラーゼ阻害

軽症：倦怠感、違和感、頭痛、めまい、胸部圧迫感、軽度の運動失調等の非特異的性状、
嘔気、嘔吐、唾液分泌多過、多量の発汗、下痢、腹痛、軽い縮腫

中等症：軽症に加え、縮腫、筋線維性れん縮、歩行困難、言語障害、視力減退、除脈

重症：縮腫、意識混濁、対光反射消失、全身けいれん、肺水腫、血圧上昇、失禁

一旦臨床症状が軽快に向い、再度悪化することがある。まれに後日、末梢神経障害が出現することがある。

危険性：通常の使用方法で問題無し。

環境影響：水産動物に影響を及ぼすが、通常の使用方法では問題ない。養魚池周辺での使用に注意する。

応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。アルカリ性になると分解しやすいので、石鹼を使用する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

I B Pの解毒剤としては硫酸アトロピンが有効である。

火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消化剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消化活動上の注意：燃焼又は高温により有毒なガス（硫黄酸化物等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

漏出時の措置

処理事業者に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。

取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。使用後の空容器は、一定の場所を定めて集積し、廃棄上の注意に従い処分する。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無い。

保管：直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。劇物は、貯蔵庫に施錠して保管する。

暴露防止措置

管理濃度：鉍物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

E：管理濃度(mg/m³) Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

(作業環境評価基準 平成21年厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日)

許容濃度：日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子

物理・化学的性質

外観等：類白色粉末

pH（10倍希釈液）：約3.9

見かけ比重：約0.89

危険性情報

引火点：無し

安定性：通常の保管環境下で安定。IBPは酸性～中性で安定、アルカリ性で分解。

反応性：通常の保管環境下で安定。

有害性情報

刺激性（皮膚）：ウサギ 刺激性有り／IBP粉剤

刺激性（眼）：ウサギ 軽度の刺激性有り／トリシクラゾール、IBP

感作性（皮膚）：モルモット 陰性／トリシクラゾール、IBP

急性毒性（経口）：ラット（♂ ♀） LD₅₀ 5000 mg/kg 以上

急性毒性（経皮）：ラット（♂ ♀） LD₅₀ 5000 mg/kg 以上

変異原性：陰性／トリシクラゾール、IBP

催奇形性：無し／IBP

環境影響情報

魚毒性：コイ LC₅₀ 13 ppm（48時間）／トリシクラゾール粉剤

LC₅₀ 12.6 ppm（48時間）／IBP粉剤

ミジンコ LC₅₀ 2.3 ppm（3時間）／トリシクラゾール粉剤

LC₅₀ 0.2 ppm（3時間）／IBP粉剤

廃棄上の注意

保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ燃焼させる。

輸送上の注意

運搬に際しては、容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。水濡れに注意する。

適用法令

農薬取締法（登録番号：第15286号）

労働安全衛生法（粉じん障害防止規則）

毒物及び劇物取締法（指定令第2条99の8 劇物 8%以下は普通物）／トリシクラゾール

PRTR法（対象物質：IBP 第一種指定物質196号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は第一種指定物質 254号）

※ 政令改正前（平成21年9月30日まで）の情報に基づくPRTRの届出は、平成21年度分までであり、22年4月からは政令改正後の第一種指定化学物質による排出・移動量の把握が必要となります。

その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献：1) 製品安全データシートの作成指針（平成13年10月 社団法人 日本化学工業協会）
2) 農薬中毒の症状と治療法 平成20年4月 農林水産省農蚕園芸局
3) 15308の化学商品 2008年2月 化学工業日報社

作成部署以外の連絡先

（財団法人）日本中毒情報センター 大阪（年中無休、24時間）

0990-50-2499（ダイヤルQ2：情報料無料、通話料は相談者負担）

072-726-9923（医療機関専用：1件2000円）

つくば（毎日9時～21時）

0990-52-9899（ダイヤルQ2：情報料無料、通話料は相談者負担）

029-851-9999（医療機関専用 1件2000円）
